

テーマ「**浮世絵を生んだ技術の探訪**」(体験型講座)

◆口上

浮世絵というと、喜多川歌麿、安藤広重など、絵師の名前が浮かびます。しかし、ヨーロッパで高く評価された浮世絵が生まれたのは、和紙、絵の具、彫り、摺りなど、各職人達の卓越した技術があったからです。今回は、そうした技術の源流を探ります。

◆会場 小津本館ビル

◆時間 各 10 時～12 時



◆内容

月 日	テーマ	内 容	講 師
第 1 回 9 月 1 日 (月)	和本入門	江戸時代、日本の識字率は世界一と言われてい ます。それを可能にしたのは和本の大量発行であり、 木版印刷の技術です。浮世絵を生んだ和紙、版木、 摺りといった技術は、和本制作のなかで培われたも のでした。	橋口こう之 介(誠心堂書 店主、上智大 学非常勤講 師)
第 2 回 9 月 10 日(水)	浮世絵の 彫りと摺 り	浮世絵の素晴らしさは、その多色刷りです。同じ 時代のヨーロッパの多色刷りとは、雲泥の差があり ます。現代では、 <b>数少ない摺り師である上田氏が実演 を交えて、彫りと摺りの技術</b> を解説します。	上田真吾(富 士木版工房)
第 3 回 9 月 29 日(月)	和紙・紙漉 き	和紙は洋紙に比べ繊維が 10 倍程度長いともいわ れ、丈夫な紙こそ、多色摺りを可能にし、また長期 の保存を可能にした。 <b>紙漉き体験</b> もしながら、和紙 について考えます。	小津スタッ フ
第 4 回 10 月 6 日(月)	絵師・葛飾 北斎	葛飾北斎の一生を振り返り、絵師の生活を紹介し ます。また、誰よりも近代絵画の技法を学んだ北斎 が、ヨーロッパ絵画に大きな影響を与えた不思議な 縁についても、お話しします。	小山周子(江 戸・東京博物 館学芸員)
第 5 回 10 月 28 日(火)	絵の具	日本絵の具は、同じ色でも粒子の大きさに色合い が変わります。例えば、講師の経営する日本画材店 では、1600 色もの絵の具が売られています。英語 も堪能なご主人が絵の具の秘密を紹介します。	杉田桂子「金 界堂」店主)

◆講義料 1万4千円(一括申し込み)

◆申込み方法

日本文化体験交流塾ホームページ<http://www.ijcee.com/>から、お申し込みください。

定員 30人(先着順) 申し込み締め切り 8月17日(日)

◆ 問合せ先

日本文化体験交流塾事務局

メール [info@ijcee.com](mailto:info@ijcee.com) TEL090-1607-5099 FAX 03-3917-8353

◆ アクセス案内

小津本館ビル 〒103-8435 東京都中央区日本橋本町 3-6-2

小津和紙は、日本橋で350年の歴史を持つ老舗の紙問屋です。「小津和紙博物舗」や「小津ギャラリー」、約2000点の歴史資料を展示する「小津史料館」も併設されています。



●銀座線・半蔵門線

「三越前」駅 A4 出口より徒歩8分

・A4 出口を出て右へ、刃物の「木屋」の角を右折、直進。左手に鯉節の「にんべん」、右手にカステラの「文明堂」を通り過ぎて本町2丁目交差点を渡って左へ。昭和通沿いに数分歩いた右手にお店があります。

●JR 総武線快速「新日本橋」

駅 5 番出口より徒歩2分